



人間科学の視点からみた「はたらく場」「はたらき方」研究



デザイン・建築



Keywords

ワークプレイス、ワークスタイル、知的生産性、共創



佐藤 泰 講師

所属

芸術工学研究科 建築都市領域

専門分野

ワークプレイス/ワークスタイル研究 (環境心理・環境行動研究)

所属学会

日本建築学会、日本オフィス学会、人間・環境学会

HP

<https://www.facebook.com/tailabonagoyacu/>



研究概要

オフィスをはじめとした「はたらく場」の提案には様々な視点からの検討が求められますが、コロナ禍でさらに、自社オフィス以外も活用した、私たちの新しい「はたらき方」をどのように考えていくべきかを問い直す時期に来ています。加えて、このような多様化・複雑化する状況では、一人ひとり異なるパーソナリティをどこまで考慮に含められるかも、重要な課題です。

佐藤研究室では、行動観察やアンケートを元にした統計分析、インタビュー調査などの質的調査といった多様な手法を用いて、「ひと」の心理・行動に対する理解を多角的に深めながら、ワークプレイス、ワークスタイルのあり方を考えています。

また、佐藤が学部～博士、助手・助教までを「人間科学部」という学際的な学部で過ごした強みを活かし、認知科学や社会心理学といった他分野の専門家とも協働して、企業との共同で実証的に研究を進めています。

業績など

- 2020年度 日本建築学会東海賞(論文賞)受賞
「ワーカーの個人属性とオフィス内行動毎の環境選好の関係
多様な知的活動の支援環境に関する検討」
- 公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター
「ポストコロナのライフスタイル変化に対応した都市研究会」
委員 (2020年度)
- 株式会社オカムラ オンラインセミナー「ニューノーマルのワーク
プレイスを描く ～中部エリアでのこれから～」講師 (2021年1月26日)
「ワーカー同士の情報共有に着目したオフィス研究
～ちゃんと雑談、していますか?～」



今後の展望

これからの離散する働き方時代において、従来当たり前確保できていた社内のコミュニケーションの維持とセンターオフィスのあり方の再定義、自由な働き方や社外とのコラボレーションの可能性を高めるための新たな働く場の提案(ストック活用などを含め)につながる研究ができればと考えております。



研究者からのメッセージ

リモートでも働くことができるようになった後、その質をいかに高めるか、また集まって議論する場をどのように提供するのか、社員が分散する中でも情報共有レベルを下げないために何が必要か、まちの中に新たな働く場をどう挿入できるのか、考えていきたいです。

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター
(桜山キャンパス本部棟2階/事務局学術課内)
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
(名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ)
☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261
✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp